

事例番号:350159

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第五部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 41 週 2 日

8:50 予定日超過、誘発分娩目的で入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 41 週 2 日

10:20- オキシトシン注射液投与開始

15:10 頃- 胎児心拍数陣痛図で繰り返す高度変動一過性徐脈を認める

15:21 頃- 胎児心拍数基線 60 拍/分台の徐脈および基線細変動消失を  
認める

15:49 胎児機能不全のため帝王切開で児娩出子宮は T 字に破裂し、胎  
児と胎盤は腹腔内に脱出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:41 週 2 日

(2) 出生時体重:3800g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:実施なし

(4) アプガースコア:生後 1 分 0 点、生後 5 分 1 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(チューブ・バッグ)、気管挿管、胸骨圧迫

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 29 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常あり低酸素性虚血性脳症の所見

**6) 診療体制等に関する情報**

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 1 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 3 名、看護師 1 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

(1) 脳性麻痺発症の原因は、子宮破裂による胎児低酸素・酸血症によって低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。

(2) 子宮破裂の原因は不明である。

(3) 子宮破裂の発症時期を特定することは困難であるが、妊娠 41 週 2 日 15 時 10 分頃から 15 時 21 分頃の間完全に子宮破裂となった可能性がある。

**3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)**

**1) 妊娠経過**

(1) 妊娠中の管理は一般的である。

(2) 妊娠 41 週 2 日予定日超過のため分娩誘発としたこと、および分娩誘発にあたり文書を用いて説明し同意を得たことは、いずれも一般的である。

**2) 分娩経過**

(1) 入院時の対応(破水の有無の診断、分娩監視装置装着、内診所見確認後に分娩誘発開始)は一般的である。

(2) キシリシ注射液の投与方法(5%ブドウ糖 500mL にキシリシ注射液 5 単位を溶解し、12mL/時間で開始、30 分以上経過後 12mL/時間ずつ増量)、キシリシ注射液投与中に分娩監視装置を連続装着したことは一般的である。しかし、12 時頃以降、胎児心拍数陣痛図で、基線細変動減少を伴う高度遅発一過性徐脈、および軽度変動一過性徐脈を認める状況で 12 時 5 分に経過観察とし、キシリシ注

射液を増量したことは一般的ではない。

- (4) 15時10分頃以降、繰り返す高度変動一過性徐脈、15時21分頃から徐脈を認め15時26分に帝王切開を決定したことは一般的である。
- (5) 帝王切開決定から23分後に児を娩出したことは一般的である。また、母児の安全のため緊急帝王切開の手術同意が事後承諾とされたことはやむを得ない。
- (6) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(気管挿管、胸骨圧迫、チューブ・バッグによる人工呼吸、酸素投与)は一般的である。
- (2) 重症新生児仮死のため低体温療法目的に高次医療機関 NICU に搬送したことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 分娩に関わる全てのスタッフが、胎児心拍数陣痛図の判読と対応について「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2020」に則して習熟することが望まれる。
- (2) 子宮収縮薬(オキシトシン)の使用については「産婦人科診療ガイドライン産科編 2020」に則り、胎児心拍数波形分類でレベル3以上の胎児機能不全においては、減量および中止を検討する必要がある。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

わが国における子宮破裂の発生頻度や発生状況について全国的な調査を行い、子宮破裂の関連因子および発症予防法について検討することが望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。